

# ASUMIN NOTICE

## 29

[あすみんノート]

2022 Autumn

Contact with forest

### Special Issue

森とつながる。

#### Voice

志賀壮史 大野敦子 伊東しおり  
(NPO法人グリーンシティ福岡)

#### GOOD ACTIVITY FILES

福岡市水源林ボランティアの会  
NPO法人国際自然大学校 福岡校

#### @DATA

福岡市の森林

### Asumin Information

#### Asumin Recommend

あすみんメールマガジン

#### Hondana!

13歳からの環境問題「気候正義」の声を上げ始めた若者たち

#### Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号828~845

Contact with forest

# 森林とつながる。

私たちの身近にある森林は、毎日の生活に欠かせない存在です。木に触れることで自律神経が整えられ、ストレスが緩和される効果があると言われるなど、市民の健康を支える役割を担っています。また、子どもの頃に自然の中で遊ぶことで、発想力や想像力が養われ、その後の成長に大きな影響をあたえるとも言われています。

しかし近年では、都市部での生活を送る中で森に触れる機会は、大きく減少し、人と森との良質な関わりは失われて久しい状況にあります。

今回の特集では、そんな人と森について、市民活動という視点から考えてみます。

楽しみながら森とつながる取り組みに、新しい人と森とのあり方、つながり方のヒントがありそうです。

## 福岡市の森林の特徴

市の面積の約1/3を森林が占めています。海岸線の歴史ある松林から市街地の雑木林、生活に密着した里山、脊振山域の奥深い天然林と、海から山まで多様な森林が分布しています。木材の生産以外にも、防災やレクリエーションなど公益的な役割を担っており、整備が進められています。

参照：福岡市森林整備計画変更計画（R4年度）



# VOICE

ボイス

NPO法人グリーンシティ福岡

志賀壮史さん 大野敦子さん 伊東しおりさん

Soshi Shiga Atsuko Ono Shiori Ito

## グリーンシティ福岡について

志賀: グリーンシティ福岡は、人と自然をつなぐ「対話」と「体験」の場づくり、具体的には、自然体験や環境教育プログラムの企画・運営、各種ワークショップ、環境保全活動のコーディネートなどを行っています。ここ数年では福岡

市内に残る貴重な森(特別緑地保全地区等)をフィールドに、近隣の方に森に興味を持ってもらい、実際に手入れを行う福岡市との共働事業「まちなか里山事業」に取り組みました。その他の事業もイベントが多くて、ありがたいことに九州中から相談もいただくので、スタッフみんなで力を合わせて仕事をしています。

伊東: 私がここにいて他の職場と違っていいなと思ったのは働き方です。子育てや体調など、それぞれのスタッフの生活や事情に合わせて、勤務日数や働き方を調整してもらっているのが無理のない環境で働いています。だか

ら、スタッフ間の情報共有が一番大切にしていますね。

## 森と地域の人を繋げたい

志賀: 昭和30年代くらいまでは、身近な森は里山的な利用をされていました。その頃までの森は今より人々の生活に近い存在でした。その後、ガスや電気の普及とともに森を手入れする人は減り、今ある身近な森は60年くらい放置されていることが多いです。

見方によっては自然に戻りつつあるとも言えるし、里山でないと生きられない動植物にとっては生息地の減少とも言える。それ自体に善悪は決められません。しかし、手入れされていた森が急に放置されると、高密度に木が育ち、日光を奪い合って低い木は成長できなかつたり枯れたりします。明るかった森は次第に暗い藪にな



▲地域の森をみんなで手入れ

る。その状態って周りから見たら怖くて近寄り難いですよね。この状態が何十年も続くと、森と人との関係が失われてしまいます。そうな前に森と人を繋げていきたいという思いがあります。大野: 「まちなか里山事業」の活動で、公民館や地域の人たちと一緒に森の清掃をしたことがあります。ゴミを拾ったり、落ちた枯れ枝を1箇所にまとめて束ねたり、長い枝を切って風通しを良くしたりしたんですが、ただそれだけで森の見た目がずいぶん良くなるんです。森の手入れと聞くと、大変そうで自分にはできないと思うかもしれませんが、ちょっとした活動でいいん



▲志賀壮史さん

です。やっぱり自分たちで手入れした森は可愛いし、好きになりますよね。そういう利用履歴と言いますか、「この森を綺麗にしたのは自分たちだ」と言える人を増やしていけば、その森は地域の人たちに大事な場所だと思ってもらえるんじゃないかな。そんな人が増えてくれたら嬉しいです。

## 森の課題、人の課題

志賀: 今、ナラやシイなどのどんぐりをつける木が枯れる「ナラ枯れ」という病気が広がっています。他県では以前から報告されていて、ここ2~3年で福岡でも見られるようになりました。カシノナガキイムシという虫が媒介する菌が直接の原因ですが、周辺の開発や地面の舗装、気候の変化なども背景にあると言われます。長い目で見て、大きく豊かだった森が小さくひ弱な森になっていくのではないかと気になっています。森に関することは気長にやらないとわからないことが多いです。希少種や絶滅危惧種は注目されやすいですが、それまで普通にいた生きものが見られなくなるといったことも同じように気にかけてほしいですね。もう一つ危機感を感じていることは、生きもの愛好家やアマチュア専門家の知識を次世代に引き継いでいないんじゃないかということです。環境保全には地域の生きもの情報の情報は不可欠ですが、そういう方たちのボランティア的な協力があってこそ把握できてい

ます。その意味でも自然や生きものが好きな人たちを増やしていきたいですね。

## 生きものに触ってみよう

大野: イベントに参加する子どもたちは自然が好きなのが多いです。けれど最近は図鑑の知識はあるんですが、実際の虫に触ることができない子が増えているように感じます。カゴに入れた虫は夢中で見ているけれど、いざ網で採ると「どうしたらいいの?」って聞かれちゃう。カゴに移してって言ってもそのやり方がわからなかったり。対応した保育園でも虫を強く触ってしまい死なせてしまうことがあるという相談を受けることがあります。なので最近では虫のやさしい触り方を教えることに力を入れ始めました。ダンゴムシを手の上で歩かせるように観察すると弱らないよと話します。そして最後は元いた場所に返してあげるようにしています。ちょっと田舎の保育園に行くと、たくさん虫を採っているのも、何も教えなくても虫を弱らせない触り方ができていることが多いです。普段の経験が大切なんでしょうね。伊東: 園庭は子どもたちが日常で生きものとふれ合える場所だと思いますが、大抵どこにでもいるようなダンゴムシやなめくじ、ミミズといった生きものが見つからない園も少なくありません。園庭に緑が少ないのです。管理負担や安全面の問題があるのかもしれませんが



▲都心部の公園での観察会の様子

が、プリンターが一つあるだけで生きものとふれ合える機会が増えるのに、ちょっと勿体なく感じています。



▲身近な森で遊ぶ子どもたち

## 子どもたちが自然から得るもの

志賀: 子どもが自然を体験することは全ての教育のベースだと考えています。種名や生態系の概念など言葉で説明できることではなく、実際に触って水の冷たさとか虫の力の強さとか、日のあつた石の暖かさとか、そういった感触を蓄積してほしい。大野: 私は自分の子どもたちを自然に触れ合える体験活動に連れて行くようにしていました。今思うと自然を体験するのと同じくらい、活動を通して周りの大人たちと対等に話したりした経験ができたことがよかったなと思います。親じゃない大人たちに木を切って褒められた経験がいつか子どもたちの自信に繋がるんじゃないかな。伊東: 人の社会の中にしか居場所がないという感覚が私は窮屈だと思ってます。自然の中で、生きものとしての人間が解放され

る感じを子どもたちに知ってもらいたいです。それから、その自然が壊されてしまった時、胸が苦しくなるような感覚を持って成長してほしいです。

## 団体のこれから

志賀: 仮に週末に車で出かけられる人しか自然を体験できないという社会になったら悲しいですね。子どもが自力で歩いたり自転車でいける範囲に森や水辺があつてほしい。幸い、福岡市は他の政令市と比べて都市部に森がたくさん残されているという良さがあります。グリーンシティ福岡は名前の通り「緑のまちづくり」を目指していますが、そんな福岡市の良さを活かしながら、多様な生きものが住み、子どもたちが遊んで、大人も趣味や健康づくりを行っている、そんな人と自然が関わる場を増やしていきたいと思っています。

NPO法人  
グリーンシティ福岡

人と自然がつながること、身近な自然を通じて人と人がつながることを目標に、2003年に団体設立。市内の公園や緑地などをフィールドに自然観察や保全活動、各種ワークショップを行なっている。2020年からは、オンラインでの「ZOOM de かんざつ会」を行うなど、活動の幅を広げている。

<http://www.greencity-f.org>

# GOOD ACTIVITY FILES

## グッド・アクティビティ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

43 市民一人ひとりの力で、水を育む森林を守る

### 福岡市水源林ボランティアの会

福岡市に水の恩恵を施す「水源かん養林」を守るために、福岡市水道局と共働で水源林の保全活動を行っています。長谷・曲淵ダム湖畔での下草刈り・間伐などの定例活動や、チェーンソー技術修得の任意活動などで山遊びを楽しんでいます。幅広い年齢層の人たちが活動しており、共に汗を流す仲間を募集しています。



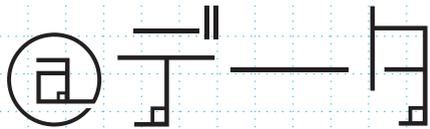
44 対話と経験を通して自分に自信を持って前向きに生きていく

### NPO法人国際自然大学校 福岡校

すべての子どもたちに主体的に遊ぶ場を。NPO法人国際自然大学校福岡校は、福岡市内に住む子どもたちを中心に、様々な体験型の環境教育・野外教育プログラムを行っています。遊びの中にある学びを大切にしており、今年の4月には、大人も子どもも一緒に自然の中で、本当の学びについて考える、「The DAIGAKU」をスタートさせました。



▲自然の中のいろんな緑色を探そう



「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

## #福岡市の森林

教えてくれた方

福岡市農林水産局  
森林・林政課 森林経営係長  
**西山 健太郎**  
Kentaro Nishiyama

福岡市農林水産局  
森林・林政課 林政係  
**瀧澤 紀子**  
Noriko Takizawa

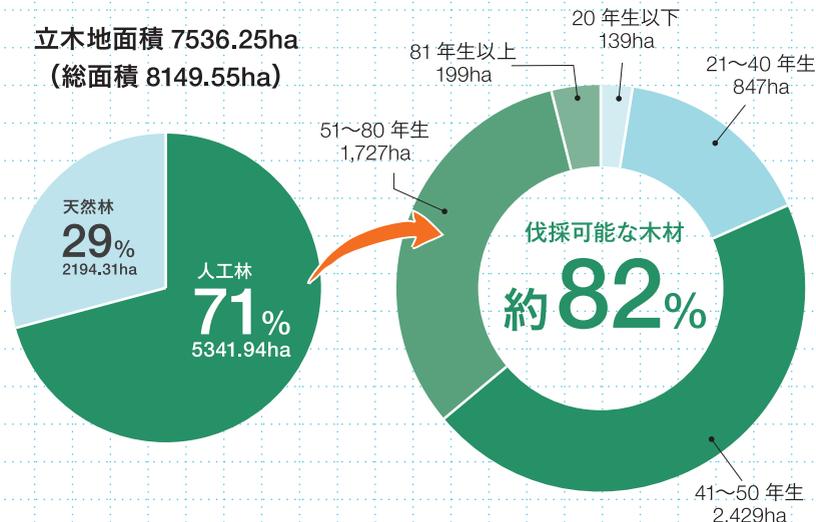


森を守り、  
活かす都市づくり

### ★Data1

福岡市は自然にあふれています。  
福岡市の人工林、伐採可能な木材の割合

出典：福岡県「福岡地域森林計画書」



### 福岡市の森林の背景

福岡市の面積の約1/3を森林が占めていますが、そのうち約7割が人の手によって植樹された人工林です。その木々の多くが樹齢40年を越えており、木材として伐採し出荷することができる大きさに成長しています。その割合は福岡市内の森林では80%を超えています。【Date1: 福岡県「福岡地域森林計画書」より】人の手が入っている森は、木々が育って切り出され、木材として使われていくことで、健全なサイクルを保っています。伐採された後には苗木を植え、若い木が育つことで大気中の二酸化炭素が吸収されるので温暖化対策にも繋がります。ですが、福岡市のみならず全国的に見ても、伐採期を迎えたスギやヒノキが森林に多く残されている現状があります。

### 森林が持っている課題

人工林の木々が、利用できる状態にありながら、そのままになっている理由は大きく2つあります。まず1つ目が木材価格の低迷です。1980年代以降、価格の低い外国産材の流通量が増加したことで国内産材の価格が下がり、伐採・搬出・運搬・製材などにかかるコストが販売価格に見合わない状況が生じてきました。もう1つが林業の担い手が少ないことです。福岡市内の林業従事者数は農業や漁業に比べても極めて少なく、全市で100名程度です。【Date2: H27国勢調査】こうした要因に加え、所有者が不明な森林や境界が不明な森林が増えていることも伐採が進まない状況に追い打ちをかけています。

### 森林を有効活用するうごき

森林は木材供給以外にも多様な機能を有しています。水を蓄えたり、土壌を保持して災害を防いだり、多様な生物を育んだり。身近なところでは、レクリエーションの場として、森林浴やキャンプを楽しまれている市民の皆さんも多いと思います。また、温室効果ガスの吸収源として、森林の保全が国際的な課題として認識されるようになりました。福岡市ではこうした状況を踏まえ、市民の皆さんに森林に親しんでもらい、緑のある豊かな生活を支える環境を次世代に残していくことを目指した長期ビジョンを「Fukuoka Green NEXT」として推進しています。【Date3】

### これからの森林と市民の関わり方

市民の憩いの森として「油山市民の森」、歴史ある「生の松原」など、身近な森林が福岡市にはたくさんあります。これらの森の保全にはいろいろな市民団体も関わっています。身近な地域にある森や林をもっと知ってもらうため、今年7月から8月にかけて福岡タワーで「Fukuoka Green NEXT」のイベントを開催しました。福岡市立博多工業高校インテリア科の皆さんの協力のもと、福岡市内産の間伐材を使ったウッドプレートやコースターなどの制作・展示を行いました。こうした福岡市産材について、市民の皆さんから様々なアイデアが出てくることを期待しています。

### ★Data2

福岡市の林業従事者数

H27年次	実数(人)
農業	3,526人
林業	99人
漁業	517人

▲H27国勢調査

### ★Data3

Fukuoka Green Next



100年後の森を見据えたビジョン。「守る」「楽しむ」「活かす」を踏まえた「安心」「遊び」「水循環」「環境」「なりわい」の森づくり



▲博多工業高校インテリア科木工作品

## あすみんのオススメ

Asumin Recommend

### あすみんメールマガジン

あすみんでは、毎月5日、20日にメールマガジンを発行しています。「あすみんからのお知らせ」、「福岡市からのお知らせ」、「団体のイベント・ボランティア情報」、「助成金情報」と、市民活動に役立つ情報が満載。2022年2月にはこれまでのテキストメールからHTMLメールにリニューアルし、より一層、情報が見やすくなりました。メールマガジンの登録は、あすみんホームページ上にある、「あすみんメールマガジンの登録はコチラから」から申請をすることができます。ぜひご登録ください。



## ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

### 13歳からの環境問題「気候正義」の声を上げ始めた若者たち



ISBN:978-4-7803-1082-5  
定価:1,760円(本体1,600円+税)  
判型:A5判  
ページ数:144

現代社会に生きている以上、誰でも環境問題の当事者です。この本は、いくつかの環境問題の中から、特に重大な危機に瀕しているものや、国際社会の中で大きく話題になっている問題を取り上げ紹介しています。自然を破壊し続ける社会から、自然を守る社会に変わるためにはどうしたら良いか、未来を担う子ども達の、地球環境に対する意識を変えるきっかけとなる一冊です。

【著者】志葉 玲  
【発行者】かもがわ出版  
【発行年】2020年

## 登録団体紹介

Organization Introduction

### あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号828~845)

- 全世界の犬猫の殺処分を廃止にする会
- NPO法人海のゆりかご
- ふくおか子ども食堂ネットワーク
- ソコソコ共生愉会
- NPOハワイアロハライフ協会 福岡支部
- 安心・安全防犯ボランティア福岡
- Familia Academy 協会
- 語りボランティア七つ星
- ミューズ倶楽部
- 一般社団法人子ども電話・童神
- NPO法人安全・安心サポートセンター
- NPO法人えんげき広場cue
- はみだす朗読ユニットテクテクハニカム
- Nっ子ネットワーク カンガルーの親子
- inochi Gakusei Innovators' Program 2022 KYUSHU
- RAYTUS~Happy Village~
- NPO法人ハッピーライド
- 朝倉復興支援 あさくら杉おきあがりこぼし展実行委員会

### 登録有効期限に関するお知らせ

令和4年3月31日までに登録された団体の中で、令和4年8月末日までに更新手続きを済ませていない団体は、**セミナールーム等のご利用が出来なくなっております**ので、窓口で手続きをお願いします。

### 利用団体登録について

Check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

### 登録に必要な書類

- (1) 福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2) 団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3) 活動計画書
- (4) これまでの活動実績がわかる資料
- (5) 役員名簿
- (6) 自己チェックシート
- (7) 申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

## 福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 9:00~22:00 日・祝日 9:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ● 七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ● 西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ● 西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分



HP



facebook

